

Leader



2023年3月期 第2四半期 決算補足説明資料 リーダー電子（6867）

2022年11月4日

<https://www.leader.co.jp/>

2023年3月期 第2四半期 決算



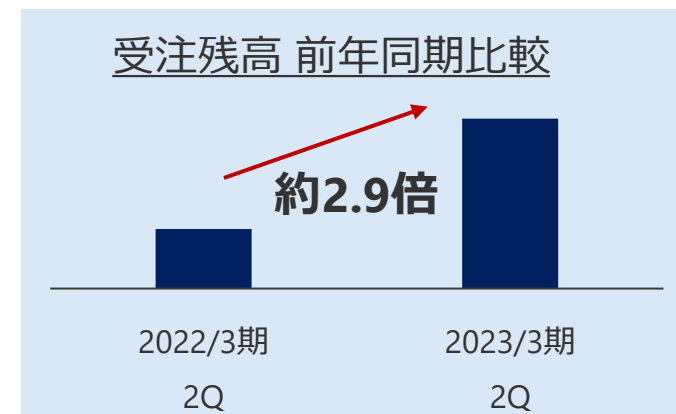
<https://www.leader.co.jp/>

業績：サプライチェーン混乱は想定以上に長期化の様相。

納品スケジュールが確定せず、通期業績の予想は困難な状況。

■ 売上高：1,655百万円（前期比△8.1%）、経常利益△335百万円

| | |
|----|-------------------------------|
| 中国 | ゼロコロナ政策の継続による停滞。 |
| 北米 | IP対応機種を中心に堅調だが、マクロ環境は厳しくなる傾向。 |
| 欧州 | 2Qに入りやや軟調の傾向。 |
| 日本 | 前期から引き続き設備投資意欲低調。回復の気配無し。 |



■ 財務：自己資本比率 **79.7%**と盤石の財務基盤維持（前期末比△2.1pt）

■ 下期の取り組みについて

- 新商品、新サービス開発への積極的に投資する方針は継続。（GLADIAS 12月リリース予定）
- サプライチェーンの強化への取組を継続。
- エリアごとの環境を注視し、経営資源配置の最適化を検討。

欧米はIP化への投資が活発化しマクロ環境が厳しい中でも好調を維持。
全体では、サプライチェーンの混乱により納品が遅れ苦戦。

(単位：百万円)

| | 2022年3月期 2Q 実績 | 構成 % | 2023年3月期 2Q 実績 | 構成 % | 前年同期比 % |
|----------------------|-------------------|---------|-------------------|---------|------------|
| 売上高 | 1,801 | 100% | 1,655 | 100% | △8.1% |
| 売上総利益 | 1,192 | 66.2% | 1,044 | 63.1% | △12.4% |
| 販売費及び一般管理費 | 1,135 | 63.0% | 1,451 | 87.7% | +27.9% |
| 営業利益 | 56 | - | △407 | - | - |
| 経常利益 | 56 | - | △335 | - | - |
| 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | 32 | - | △338 | - | - |

戦略的に研究開発費を増加 研究開発費：607百万円（前年同期比+189百万円）

QxLを中心にPHABRIX社製品好調

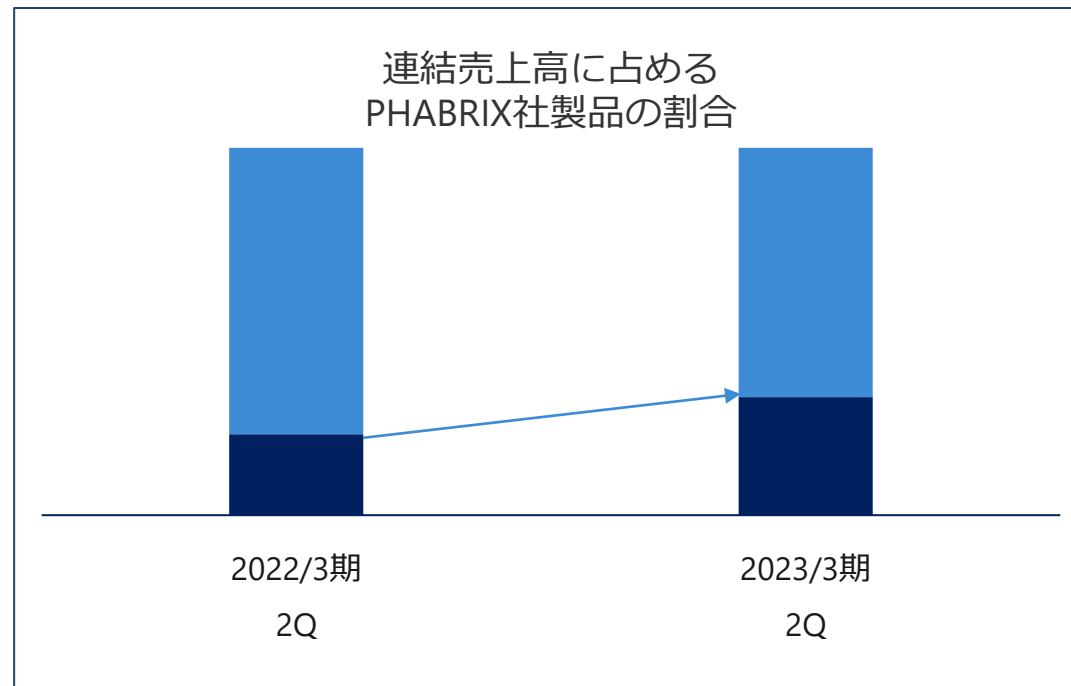
25G-IP 対応ラスタライザーQxL



- 製品名：ラスタライザー
- 型番：QxL
- 発売開始：2020年9月
- 開発元：PHABRIX社

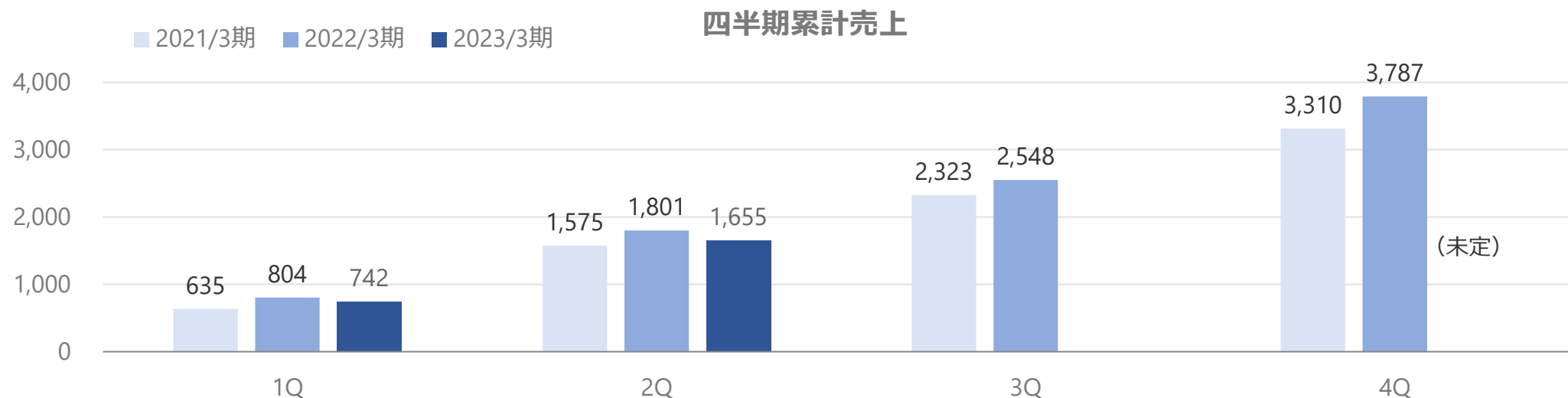
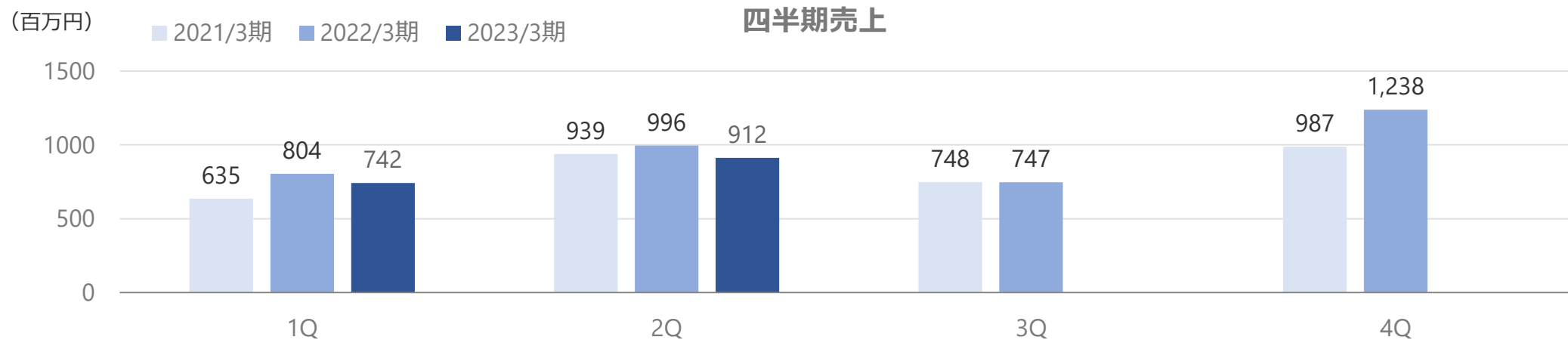
多様化が進む放送環境において幅広く活用可能

- 4K映像の伝送が可能な25G-IPに対応
- 放送・メディア制作や放送機器の設計開発で好評なラスタライザーQxの上位機種

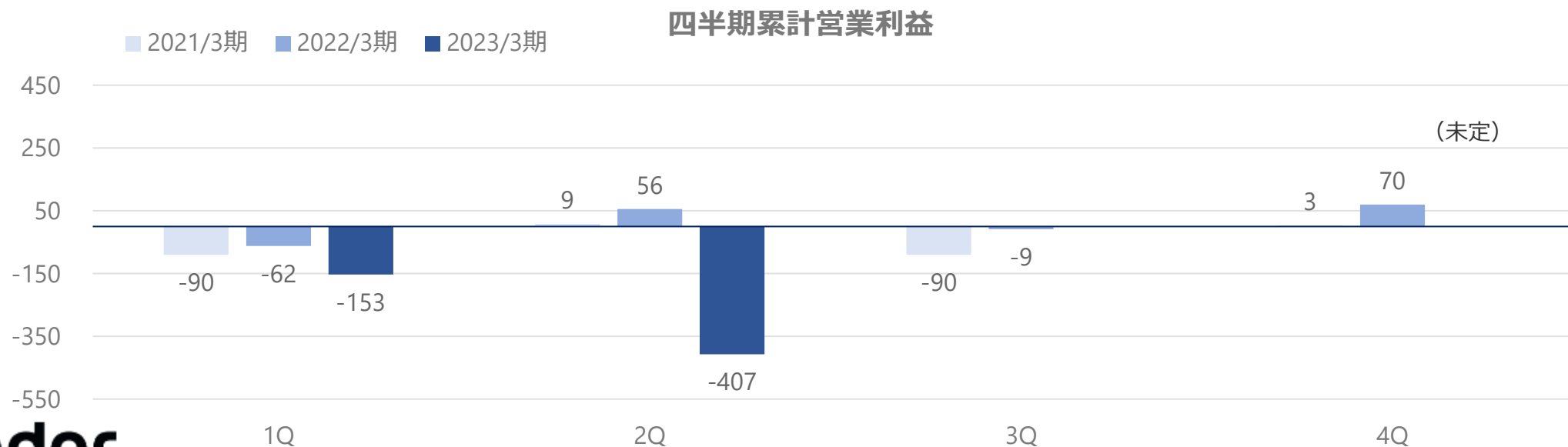
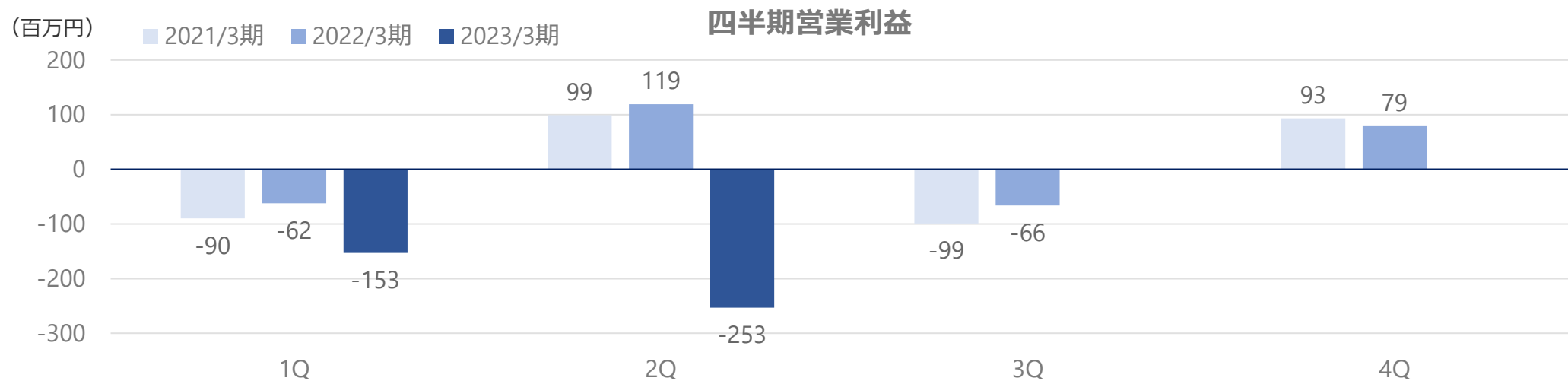


高画質化する放送メディアのIPネットワークに対応可能な製品

四半期業績推移（売上高）

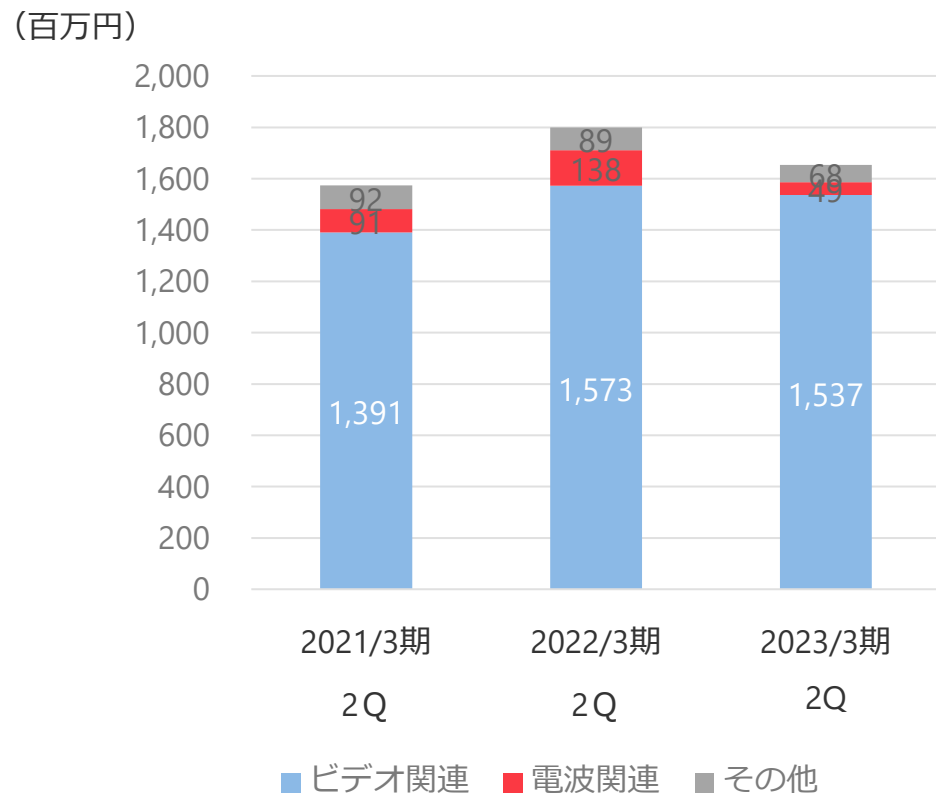


四半期業績推移（営業利益）

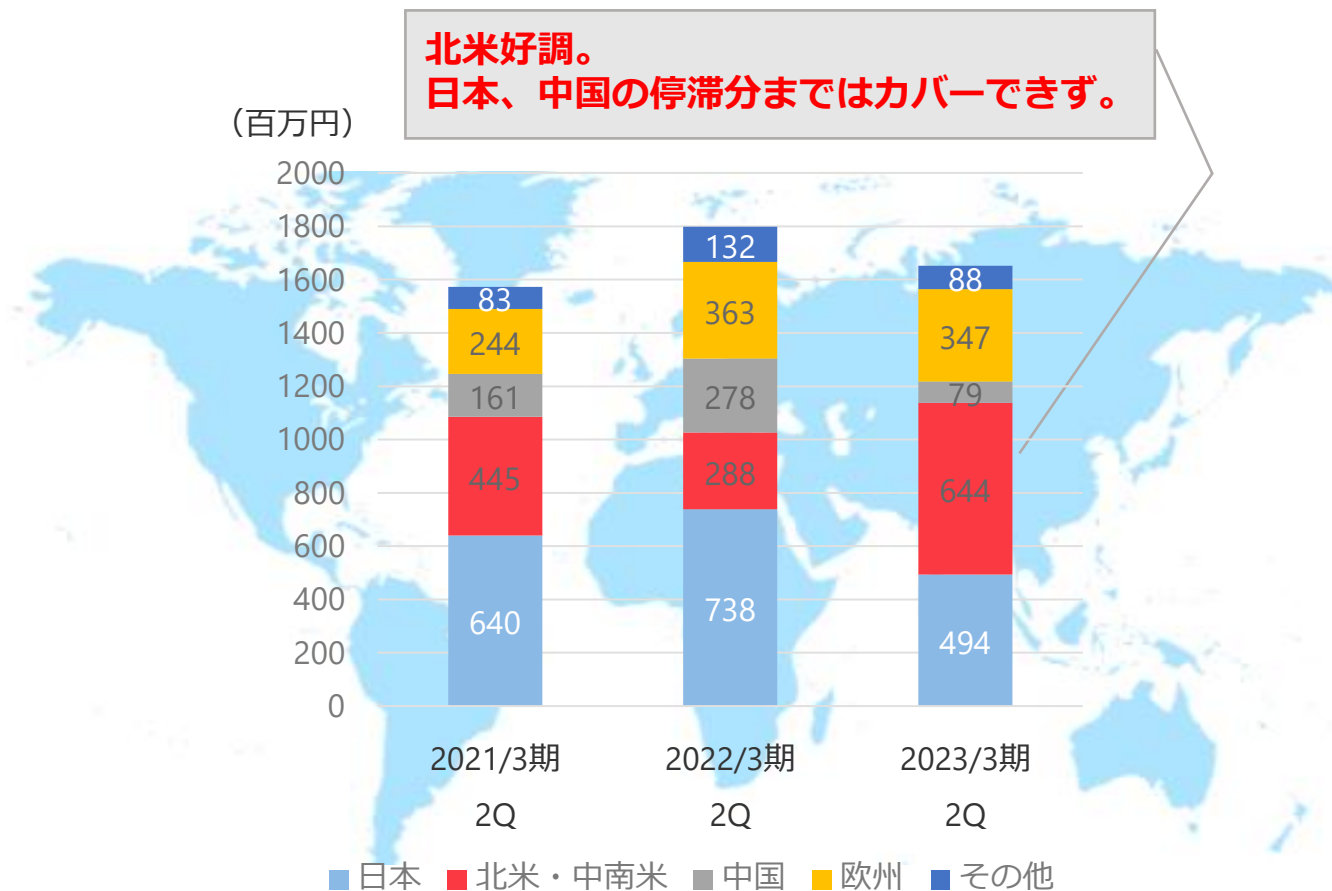


セグメント情報

■ 商品別売上高



■ 地域別売上高



貸借対照表、資金調達関連

| 単位:百万円 | 22年3月末 | 22年9月末 |
|----------------|--------|--------------|
| 流動資産 | 4,260 | 4,114 |
| 現預金 | 3,005 | 2,686 |
| 受取手形及び売掛金 | 673 | 594 |
| 商品及び製品 | 291 | 325 |
| その他 | 290 | 507 |
| 固定資産 | 1,467 | 1,412 |
| 有形固定資産 | 636 | 614 |
| 無形固定資産 | 395 | 346 |
| 投資その他の資産 | 435 | 451 |
| 総資産 | 5,728 | 5,526 |
| 流動負債 | 561 | 634 |
| 買掛金 | 205 | 178 |
| その他 | 356 | 456 |
| 固定負債 | 459 | 468 |
| 退職金に係る負債 | 305 | 317 |
| その他 | 136 | 150 |
| 純資産 | 4,707 | 4,423 |
| 株主資本合計 | 4,821 | 4,393 |
| その他包括利益累計等 | ▲114 | 30 |
| 負債純資産合計 | 5,728 | 5,526 |

主な増減要因

【総資産】

- 現金及び預金：△319百万円

【負債合計】

- 買掛金：△27百万円
- その他の流動負債：+114百万円

自己資本比率79.7%（前期末比△2.1pt）

2023年3月期 通期計画



<https://www.leader.co.jp/>

□ 積極投資

動画の大量生産時代に対応するべく積極的な開発投資を継続

□ サプライチェーン強化

原材料のひっ迫が長期化する前提でサプライチェーンを強化

□ 経営資源配置最適化

中長期的マーケット環境を視野に入れた経営資源配置の最適化を検討

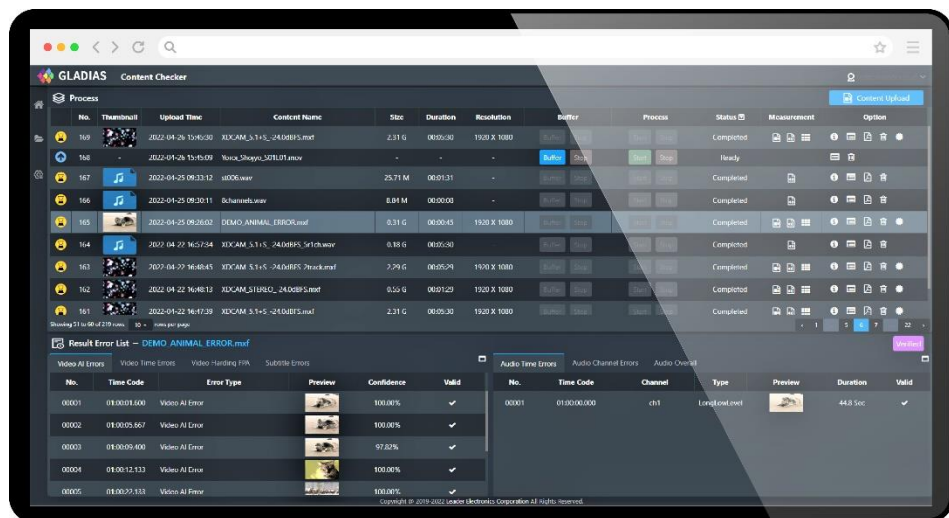
GLADIAS

➤ 12月リリース予定。本格的な業績寄与は2023年度以降を想定。

Content Checker
GLADIAS

映像・音声の放送品質自動検査サービス

通常、人が目で見て判断する映像・音声のクオリティを、AIが代わって検査するクラウドサービスです。AI (ディープラーニング) を使って、コンテンツの異常と思われる部分を見つけ出します。



複雑なパラメータ設定は必要ありません

複雑なパラメータ設定がないので、映像や音声の専門的な知識がない方でも使用できます。

クラウドサービス

導入コストを抑えられ、簡単に開始できます。

異常と思われる部分を簡単にチェック

異常と思われる部分の前後3秒で切り取った映像・音声を、プレビュー再生で簡単に確認できます。複数のコンテンツを同時にチェックできるので、作業時間の軽減にもなります。

車載カメラ向け解像度測定ソフトウェア 発売開始

➤ 大手を中心に数社に導入試験実施中。開発・バージョンアップ継続。

MTF Measurement Software SFR-Fit

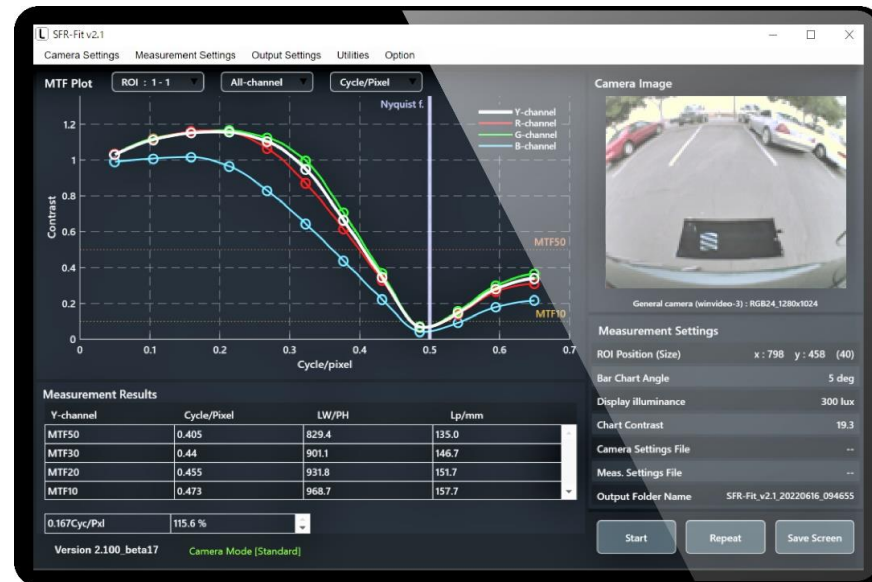
車載カメラ向け 解像度測定ソフトウェア

魚眼レンズを備えた車載カメラの
解像度測定に最適

測定が困難であった魚眼レンズを備えた車載カメラ
の解像度を安定かつ、高精度に測定

画像の歪みやノイズ、画像処理に強い

ペーパーやフィルムなどのテストチャートが不要



【今後の出展予定イベント】

- ① 2022年12月7日～9日 国際画像機器展 (パシフィコ横浜)
- ② 2023年1月5日～8日 CES2023展示会 (アメリカ ラスベガス)

弊社のメインのビジネス領域である放送・映像配信を取巻く環境は、大きな変革期にあります。一方、通信と放送の融合による映像（動画）の配信マーケットの急速な拡大は大きなビジネスチャンスであり、北米を中心に日々多くのクライアントから引合い、問合せを頂いております。

しかしながら、サプライチェーンの混乱が当初の予想以上に長引いており、受注済みの案件に対して、生産・納品スケジュールを確定できずにいる案件も多く、現時点において合理的な業績予想の算定を行うことは困難であり、適切な予想の開示ができないと判断したことから通期連結業績予想を未定といたしました。

今後、業績予想の開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。